

相談支援つうしん

<第81号>2022年6月9日
県立湘南養護学校 支援連携部
相談支援係 ~教師編~

みなさん、6月となりました！年度初めは、慌ただしく過ぎていく毎日かと思いますが、新しいクラスに先生方も慣れてきたころではないかと思えます。湘南養護学校では、相談支援係より2つの支援通信を出しています。一つは保護者の方向け、もう一つは学校の先生方向け！ということで、日ごろの学校での取り組みを先生方に紹介していくものです。今回で81号になりますが、HPに過去のものが載っています。とても参考になるものばかりですので、新しく赴任された先生方、ぜひご覧ください！！

～TTの初心に還る！！ MTに視線を STは黒子に～

(メインティーチャー)

(サブティーチャー)



特別支援学校の授業では、教室に複数の教員がいることが当たり前ですよね。ですが、授業で注目してほしい教員は一人。前に出ている教員(MT)の指示や問いかけに、注目してほしいわけです。STの皆さん、つい「〇〇さん、呼ばれてるよ。」「ほらほら前見て。」と大きな声で…複数の教員から言葉の指示を出していませんか？支援に入っているのですから、促すことは必要なことですよね。しかし、そのSTの言葉の指示でMTの指示を聞く意識が薄れてしまっているかもしれません。つい言葉に頼りがちですが、身体の向きをそっと変える、視線が向くように指差しをする、始まる前に順番表を見せておき予告しておく等、さりげない支援で気づくことができる場面って実は多くないですか？！「待つ」大切さを改めて感じますね。MTの先生の指示を繰り返し言葉に出したいのであれば、声量にも注意したいものです。授業の中には写真カードや手順書がきっとあるはずですよ。それを見て分かっている子どもたちはたくさんいるはず。逆にMTが気づけないような褒めポイント「お！前回の授業より上手になった！！」というところは、その場で言葉に出して伝えていけると、STとして、授業の質を上げることにつながりますね。クラスに慣れてきた今、もう一度授業での教員間でのルールを確認していきましょう！！

～シンボルと身振りサイン、みなさんつかっていますか？！～



本校ではシンボルと身振りサインが全学部で統一されています。授業名をピクトグラムで表したシンボルマークや、日常生活でよく使う身振りサイン、各授業の身振りサインを使った支援が数年前から盛んに行われています。ただ、毎年教員の異動もあることから、だんだんと共通言語としての機能が失われていっている例も見られるような…。そんなこともあり、各学部でもう一度身振りサインを再確認しよう！という機会がどの学部でも年度はじめに設けられています。シンボルや身振りサインが学年、学部ごとに異なると児童・生徒の混乱を招くこともあると思います。身振りサインは誰でも使いやすいようにシンプルな動作でできています。サインは話しことばよりも獲得が容易で、話しことばの前提となることばの概念を育てます。また、サインを表出手段として使うことで、コミュニケーションの意欲が育ちます。学年、学部が変わっても児童・生徒が安心して自ら発信できるように湘南養護ブランドでもある、シンボルと身振りサイン…！どうぞご活用ください♪湘南養護ブランド集にばっちりのっていますのでお時間あったらご覧ください。小学部から本校にいる高等部の生徒たちが見事に身振りサインを使いこなしている姿は、過去から現在の先生方の指導の賜物だなと思って見えています！！